

1

NEWS

優良耕作者に北條さん、窪木さん
エゴマ収穫感謝祭を開催

特産さめがわ合同会社（関根政雄代表社員）のエゴマ収穫感謝祭は二月六日、村商工会館で行われました。
エゴマ栽培者や同社関係者など約五十人が参加。栽培者の栽培意欲向上や地域産業活性化などを目的に開かれました。優良耕作者表彰として、北條平さん（岫長）と窪木喜久代さん（芦ノ草）に、関根代表社員から賞状と記念品が贈られました。大楽村長、早川商工会長の来賓祝



写真上…エゴマ料理を味わう参加者／下…優良耕作者の表彰を受ける北條さん(右)

辞に続き、優良耕作者の北條さんが「エゴマづくりの自慢話」と題して栽培のコツや苦労話などを語りました。
お楽しみ昼食会では、エゴマを使った「じゅうねんぼたもち」や「けんちん汁」、「白菜のひき肉蒸し」、その他「米粉パンサンドイッチ」や「漬け物」などの料理が会場に並びました。
また、渡瀬民謡愛好会によるアトラクションも催され、楽しいひとときを過ごしました。

2

NEWS

ふるさと談義で親睦深める
第25回東京鮫川会総会



たくさんの会員が出席した総会

第二十五回東京鮫川会の総会は一月十五日、新宿住友ビル（東

京都）で開かれました。
総会には、会員など八十五人が出席。茨木勇会長のあいさつに続き、大楽村長ら来賓が祝辞を述べました。このあと議事に入り、平成二十二年事業と決算、二十五周年記念事業を盛り込んだ平成二十三年事業計画と予算が承認されました。
また、総会終了後には、新年会も行われ、参加者はふるさと談義に花を咲かせながら、親睦を深めました。

3

NEWS

鬼は外、福は内
こどもセンターで豆まき



元気よく豆をまく園児

さめがわこどもセンターの豆まきは二月三日、こどもセンターで行われました。
はじめに、園児一人ひとりが手作りの鬼のお面をかぶり、「忘れんぼう」や「野菜嫌い」など自分の中の心の鬼を発表。菊地園長が豆をまいて園児の心の鬼を退治しました。その後教室に戻って豆をまき、教室の中にある鬼を元気よく追い払いました。
また、無病息災を願い、おいしそうに豆を食べました。

4

NEWS

故関根勝義さんに正六位・旭日双光章を伝達
妻・キヌ子さんに勲記を伝達



勲記を受け取るキヌ子さん

元村議会議員の故関根勝義さんに対する正六位・旭日双光章伝達式は二月二日、関根さんの自宅（大平）で行われました。
式では、長男の誠一さん、大楽村長らの立会いのもと、鈴木登三雄県南地方振興局長から関根さんの妻キヌ子さんに勲記などが手渡されました。
故関根さんは、昭和四十八年から八期三十二年にわたり村議会議員を務め、農林業の振興や福祉の向上などに尽力されました。

5

NEWS

中野チームが上位を制す
第2回村長杯争奪クロリティー大会



熱戦が繰り広げられたクロリティー大会

村老人クラブ連合会主催の「第二回村長杯争奪クロリティー大会」は一月二十八日、村公民館で行われ、中野7チームが熱戦を制しました。
大会には、七地区の老人クラブから二十七チームが参加。予選リーグを勝ち抜いた九チームが決勝トーナメントに進出し、熱戦が繰り広げられました。
成績は次のとおりです。
▼優勝：中野7チーム▼準優勝：中野5チーム▼三位：東石2チーム

6

NEWS

水野美好さんに法務大臣感謝状
人権に関する相談などに尽力



中村白河支局長から伝達を受ける水野さん(左)

昨年十二月三十一日をもって人権擁護委員を退任された水野美好さん（道少田）への法務大臣感謝状伝達式は一月十八日、村役場で行われ、中村吉光福島地方支務局白河支局長から水野さんに感謝状が贈られました。
水野さんは、平成十七年一月一日から二期六年にわたり人権擁護委員を務め、人権に関する啓発や人権問題に関する相談など地域社会における人権活動に尽力されました。

7

NEWS

餅つき・だんごさしにチャレンジ
チャレンジスクール第6講座



一生懸命もちつきをする子どもたち

村公民館事業「チャレンジスクール」第六講座は一月二十二日、村公民館で行われました。
講座には、小学生など約四十人が参加。中野長生会の会員が協力し、臼と杵で昔ながらの餅つきを楽しみました。子どもたちはついた餅を丸め、あんこもちやきな粉もちにして味わいました。
また、小さく切り分けた色とりどりの餅を水木にきれいに飾りつけ小正月を祝いました。